

グアテマラ JICA 海外協力隊派遣30周年おめでとうございます。

現在、グアテマラ・マリアノガルバス大学理工学部付属の物理実験室（PHYSLAB）で、物理実験室主任をしています江連誠と申します。

私の海外での活動は、JICA のボランティア事業を抜きには考えられません。若い頃には、パナマで理科教師として、青年海外協力隊で活動しましたが、縁もあって、グアテマラでは、シニアボランティアとして初代チーム派遣で、職業訓練庁（INTECAP）で、他の2名の方々とともに、職業訓練事業の支援をしていました。

ボランティアとしての活動以外にも、グアテマラでは、教育分野専門家として、子女教育協力プロジェクトやフィールド調整員として、算数プロジェクトで活躍する協力隊員への支援業務などをさせていただきました。

その後、もともと日本で理数科教員をしていましたので、直接、学生に教える教育活動をしたいという思いから大学の場で仕事を探しておりましたら、幸運にも現在の仕事を得ることができました。早いもので、もう8年以上になります。主な仕事内容は、理工学部の学生に対しての物理関連の基礎実験の授業担当と実験室管理です。これまでに、2000人以上の学生に実験の授業をしてきました。高校までは、ごく簡単な実験の授業の経験も全くない学生が大部分ですので、実験、実習を通じて少しでも物理の理解を深めて、その後の専門課程へ進む際の助けになればと、ボランティア時代の経験も活かしながら実験授業の改善に努めています。

グアテマラは、まだまだ途上国ですが、国の発展のためには、科学や技術の面での開発も不可欠だと思います。将来のグアテマラの発展を背負う技術者、科学研究者の育成に、ほんの少しでも貢献できればという思いで仕事をしています。

